

第三者評価結果概要版（通所介護【デイサービス】）



○基本情報

法人名	社会福祉法人浴光会
事業所名	あじさい苑
所在地	国分寺市東恋ヶ窪3丁目23番8号
連絡先	042-300-2088

○事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）

1. 基本的人権の尊重
2. 利用者様の自主性の尊重
3. 利用者様の残存能力・能力の維持、向上
4. 利用者様・ご家族、また地域社会との連携
5. 優しさと思いやり、また助け合いの心を持った介護の提供

○全体の評価講評（特に良いと思う点）

【「介護の理念と基本的な考え方」を明示し、職員の理解の上でサービスの向上を目指している】

事業所の基本理念とは別に、3サービスを提供しているあじさい苑としての「介護の理念と基本的な考え方」を明示し、すべての職員に周知している。優しさや思いやり、自主性の尊重、豊かな暮らし、地域への貢献を基本とし、年度計画の目標の中にも組み入れて支援に繋げている。利用者を主役とした利用者本位の支援や、地域に対しても事業所を開放してストレッチ体操を継続し、大きな貢献に繋がられている。目標を大きく置き、朝礼等で振り返りながら支援を行っている。

【法人の協力を得、医療とリハビリとの連携で利用者の健康面の支援を行っている】

法人の病院が隣接し、事業所では法人の医師や理学療法士等と連携して利用者支援を行っている。さらに管理栄養士や看護師も常駐し、医療面での手厚さを誇っている。体操やリハビリも充実し、医師や理学療法士による体操や機能訓練、さらに専門職直伝によるリハビリや職員による体操の支援が毎日のように行われている。身体を動かす支援と医療面での早期治療で、長期間の健康状態の保持に繋がられている。主治医を法人の医師としている利用者も多い。

【広いデイサービスルームの中で、静と動、個とグループ等、利用者の思いを支援に繋げている】

利用者は機能訓練やリハビリを目的に当事業所を利用するケースも多く、事業所では専門職との協力の上で身体機能を確認、利用者が一番合致した機能訓練を行っている。個別だけでなくグループや集団での訓練を実施し、さらに評価を基に目標を的確にした計画に繋げている。また、合同や個別でも多くのレクリエーションを楽しんだり、ゆったり出来る時間、さらに朝の会で脳トレーニングを毎日行い、メリハリのあるプログラムから利用者の思いを実現する支援に繋げている。

○全体の評価講評（さらなる改善が望まれる点）

【オールマイティーで幅広い研修計画や支援体制が期待される】

事業所はキャリアパス制度も導入し、法人理事長や施設長のトップ幹部による個人面談も実施している。さらに自己評価および上長評価を実施し、目標に対する達成度の評価や業務評価を5段階で行い、評価点数の相違を確認、共有している。この制度を活用し、レクリエーションや体操、さらに認知症周辺症状等、職員一人ひとりの得意な面をさらに伸ばすための研修の計画や支援が期待される。

【今後の事業所展開に伴いさらにレクリエーションの充実が期待される】

当事業所では今後、リハビリや入浴サービスが停止の方向とのことである。この二つは現在人気のあるサービスのため、現在のレクリエーションやクラブ活動でのさらなるバージョンアップが期待される。足浴やリハビリの要素を組み入れたレクリエーション、外へ向かって等々、さらなる「個」を大切にしたい利用者本位の支援への充実へも繋げられる。期待される部分も大きい。

【さらに多くのヒヤリハットの収集が期待される】

毎回、アクシデント報告書やインシデント報告書が提出され、委員会で集約し再発防止を図っている。その中で、ヒヤリハットに相当するインシデントの数がほぼ無い状態が続いている。ヒヤリハットは日常支援の中で数多く発生するものと思われる。ルールも見直しさらに多くのヒヤリハットの収集や検証が期待される。利用者一人ひとりの安全に向けた支援（手順書）に繋げられるものと思われる。

○事業者が特に力を入れている取り組み

【当事業所の医療連携は他に類を見ないほど優れている】

法人の病院が隣の敷地に在り、医師や理学療法士等とはいつでも連携されている。さらに施設として、当事業所を含む3事業所で看護師や管理栄養士が配属され、医・食・住すべての支援が連携して行われている。利用者や家族への安心に繋がれていると同時に、職員の安心に繋がりがり、医療面での不安の軽減された支援が行われている。

【身体を動かすことに力を入れ生活機能の低下予防が徹底されている】

利用者は、毎日体操だけでなく機能訓練や筋力強化の訓練等に参加している。専門の医師や理学療法士が参画したり指導し、集団リハビリ、筋力体操、レクリエーション体操等が行われ、個別での機能訓練等も計画的に行われている。利用者の積極的な参加が、リハビリ効果や生活機能の低下予防に繋がれている。

【身体も動かす利用者本位の支援を行っている】

事業所での午後のプログラムは、そのほとんどが活動的な内容で組まれている。利用者は毎月実施する行事やレクリエーション、クラブ活動等に参加して楽しんでいる。さらに職員は、利用者の「個」を大切にしたい支援を心掛けている。身体を動かすラジオ体操や筋力体操、散歩クラブやリハビリ、さらに趣味活動としてちぎり絵や書道、手芸や歌、折り紙や脳トレーニング等々、利用者の意思も尊重し提供している。

○利用者調査結果

有効回答者数	15人
利用者総数	39人

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	80.0%	20.0%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	60.0%	20.0%	6.0%	13.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	86.0%	6.0%	6.0%	いいえ:0.0%
4. 利用中の楽しい行事や活動があるか	73.0%	20.0%	6.0%	無回答・非該当:0.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	66.0%	33.0%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
6. 事業所内の清掃・整理整頓は行き届いているか	73.0%	13.0%	6.0%	6.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	93.0%	6.0%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	93.0%	6.0%	どちらともいえない:0.0%	いいえ:0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	60.0%	6.0%	33.0%	いいえ:0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	86.0%	13.0%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	73.0%	6.0%	20.0%	いいえ:0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望が聞かれているか	73.0%	13.0%	13.0%	いいえ:0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	73.0%	26.0%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	66.0%	13.0%	20.0%	いいえ:0.0%
15. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	33.0%	13.0%	6.0%	46.0%